

## 旅への思い

### ——芭蕉と『おくのほそ道』——

りゆうしやく

## 立石寺

(口語訳)

山形領に立石寺という山寺がある。慈覚大師が創立した寺で、とりわけ清閑の地である。ちょっと見に行ったらと、人々が勧めるので、尾花沢から予定とは異なる方向へ進み立石寺に行ったが、その間七里ばかりである。

日はまだ暮れていなかった。麓の宿坊に宿を借りておいて、山上の本堂に登った。大小さまざまな岩が重なり合って山をなしており、生い茂る松やひのきも老木で、土も石も古びて苔が滑らかに覆い、岩の上に建てられた十二院はいずれも扉を閉じて物音一つ聞こえない。崖を回ったり、岩をよじ登ったりして仏殿に参拝したが、優れた風景がひっそりとももの寂しく静まり返っていて、心も澄み渡るように感じられる。

閑かさや岩にしみ入る蟬の声